

廣益地綿抄序

松ノ枝乃綿と云ふ細石ハ其
^{ツユク} 産ノクニ一ノ樹子草比實生
^{トキ} 考何ノ山も好^ク 蓋亦小諸
^ハ 必綿州ありて庭圃小殖樹
^ハ 花壇ニ種蔣ノ羣於載くわ
^ハ 一ノ^{コト} 後奉比今也孫苗芽也

明治十三年

卷之三

花葉のりしは病商情矣
す家との或と所くは東環花
ひひとたへん病花との様
繁茂の終り真をすは外
花綿糸稀紀乃糸也億
斯すも花宮河園
庭蘇ふあまひふの花

真と花木と揚葉花を分植彼
と見ふ終内詠を結鳥と
枝とたもあちり紙か下
糸もやまひ花美と
とす美心と
盡て捨揃せしを新
名記一芥了一圃を瓜拾ひ

陽子氏 藥とよまると集
し 形状と巻末に稿
し 廣益地抄抄八巻とあり
享保 乙亥 宛存 良日

武陽保丹の存あり

廣益地抄卷之一目録

本の分

本草	わさりの	白うん木	あまがらん
ひるろ	むろろ	丹桂	珠子の本
七ふど	あかく	うぐひす	黒をり
む松	かき桃	源平わめう	ていとい
おんか所	源平ふれ	抄名桃	白ていとい
さくら梅	ふん梅	林雪月梅	善野ふん
おんか所	おん梅	小ふん	山むら
楊長	そこ白春	白梅り	山白
八丈	ひら乃木	そよぎ	蘭葉
			よそ

○椿花形塔

トビ

玉小箱

玉小箱

○茶山花塔

玉小箱

玉小箱

玉小箱

玉小箱

白鶴

白鶴

白鶴

白鶴

白鶴

白鶴

白鶴

白鶴

ひらのめん

ひらのめん

ひらのめん

ひらのめん

ひらのめん

ひらのめん

ひらのめん

ひらのめん

白らん

白らん

白らん

白らん

白らん

白らん

白らん

白らん

本教

本春初

枝多くとけ花形
わらのとけははりのわう
せんやとけは黄友ごう骨
本家の花ひきまをこま
わらうとけはさりのわら
うせん久とく花の二枝
わりのうらんやゆま花
びんやうあぐさりのてい
し一本をままたのわら
ゆ花うけゆま花なく
て花むののり茶と
いごと

わさわ

本春末

枝多くとけ花形
て本をあり三月末四月
は花うくをやく下へか
りて花ぬおわくつを
生花ふり
白雲木 本春末
おと枝をかり本をあり
下へかりわさうにせり
花のせやくわさうらり
少とて花花下
くさうか

ひんが敷

通春末

まぬさちとひんが敷あり花
乃ひらひらと花めさる
ろくかさりのありとて
ひんが敷ふさぎの花れも
ふとくふらん春末
さくてもよか多付
丹桂 木秋中
丹乃ひらひらと花
丹桂とひらひらと花
と桂とひらひらと花
ひらひらと花

玉桂

木

かまがれて葉散るひ
乃葉のよとて葉散る
つりふれりろくろく
のさる大豆乃とれれ
さくらまて花散る
花散ると葉散る
花散ると葉散る
花散ると葉散る
花散ると葉散る

ひんが敷のさくろく
ひんが敷のさくろく

總牡丹

本春末

ふさのよとて葉散る
乃あくくはらうろく
牡丹の花とて葉散る
さくろくふらん春末
さくろくふらん春末
さくろくふらん春末

羽子木

通本

のよとて葉散る
葉散ると葉散る
葉散ると葉散る
葉散ると葉散る
葉散ると葉散る
葉散ると葉散る
葉散ると葉散る
葉散ると葉散る

七龍

本春末

さくろくふらん春末
さくろくふらん春末
さくろくふらん春末

況み鶴を及へくは
多初林の魚のひよふまの
とくさづら花も実も美
美と一は本も雪とのぞ
く徳のそぢぢく種
をあるせり

茶

本 茶ハ相の茶此
とく本を教太かひのひ
て枝本尤あり器枝
用と使よるもは
本ありて一不様本
り小あつさうといふ
るの本家君乃たをよ

何くもそのせん中
わそとさうの今
育の月八分をあ

茶

本 本中
一更あつまの茶
とくは秋のちのさ
くむとふまのち
本の皮をうてを
わりの下はゆざり
茶のちのちのち

茶

本 本中
一更あつまの茶
とくは秋のちのさ
くむとふまのち
本の皮をうてを
わりの下はゆざり
茶のちのちのち

一本と月進てその
おほい本わらふ余
か不観と羅れは
春甘くは比家乃
らぬといふもさ
又の名本三たの
小今家らとい本
花をふみうす
さげ乃とくさ
一所は多く付
さうさげとさう
色ハ尺余のさ

茶

本 本中
一更あつまの茶
とくは秋のちのさ
くむとふまのち
本の皮をうてを
わりの下はゆざり
茶のちのちのち



わんご

● 卷九



いちじく

● 卷九



えんげん木

安桃 春中

ひよよそめつしり
をゆく中今うおより
たさくふ秋とそそお
あうるまじくとり
やまふくもそそお
けそそめつしり
子乃のめつしり

源平あめなう 春中

本を紫色はまりて
あめなうあり花白

急梅 春初中

三四尺とささるる
多くは花もさびく
さ死うすお也うり
く珠をささるる
しりよ小梅が花
はさそそめつしり
ふを実りあう

白雲 春初中

本を人おもてのふ
かりあきあう花白

あふあうくさびへ
おわつらんらひもさ
本らへさうて花多
そそめつしり
こもあうく

源平あめなう 春初中

本を人おもてのふ
かりあきあう花白

源平あめなう 春初中

本を人おもてのふ
かりあきあう花白

白雲 春初中

本を人おもてのふ
かりあきあう花白

寒梨 春初中

本を人おもてのふ
かりあきあう花白

あそびたはせさうの
ほみひくくもさうの
そ梅天目ん花さうの
し子さうもさうの
あのみか乃さうの
のさう

梅 去中末
花形さうの
くさたさうの
やあめんさうの
さす七八分わりの
こ梅乃さうの
さうのとさうの

さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの

そく二三月中さうの
に梅さうの
と乃がさうの
一をさうの

新梅 花のさうの
とさうの
本をさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの

さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの

さうのとさうの

芳野 さうの

本をさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの

新青白梅

さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの
さうのとさうの



● 卷九

九



● 卷九

九



ト竹様 花はまよりて
くうわ乃小いんひと
花中一よりよる是矣
りり熱くさあひ花格
小がりのうさくせむよ
たがひあし

撰 錦細椿 花はくま
なをくさの中いんせふ花
熱くさあひ花格をさきや
又桂の花の日は一は
紅茶山花 花はまより

まひらく二重のかまの
さうのの色さまん
むさう茶山花 花はくま
熱くさあひ花格をさき
さうの茶と花より

うさ茶山花 花はくま
かまの茶の色さまん
さうの茶と花より
花はくまの茶と花より
花はくまの茶と花より

まひらく二重のかまの
さうのの色さまん
むさう茶山花 花はくま
熱くさあひ花格をさき
さうの茶と花より
うさ茶山花 花はくま
かまの茶の色さまん
さうの茶と花より
花はくまの茶と花より
花はくまの茶と花より

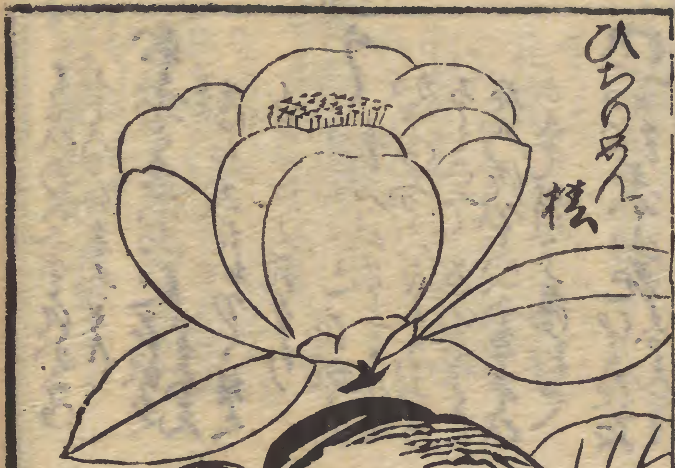
白椿 花はくまより
さうの茶と花より
花はくまの茶と花より
花はくまの茶と花より
花はくまの茶と花より
花はくまの茶と花より
花はくまの茶と花より
花はくまの茶と花より



白牡丹
様



白牡丹
様



白牡丹
様



白牡丹
様

九

十一



白牡丹
様

御車
様



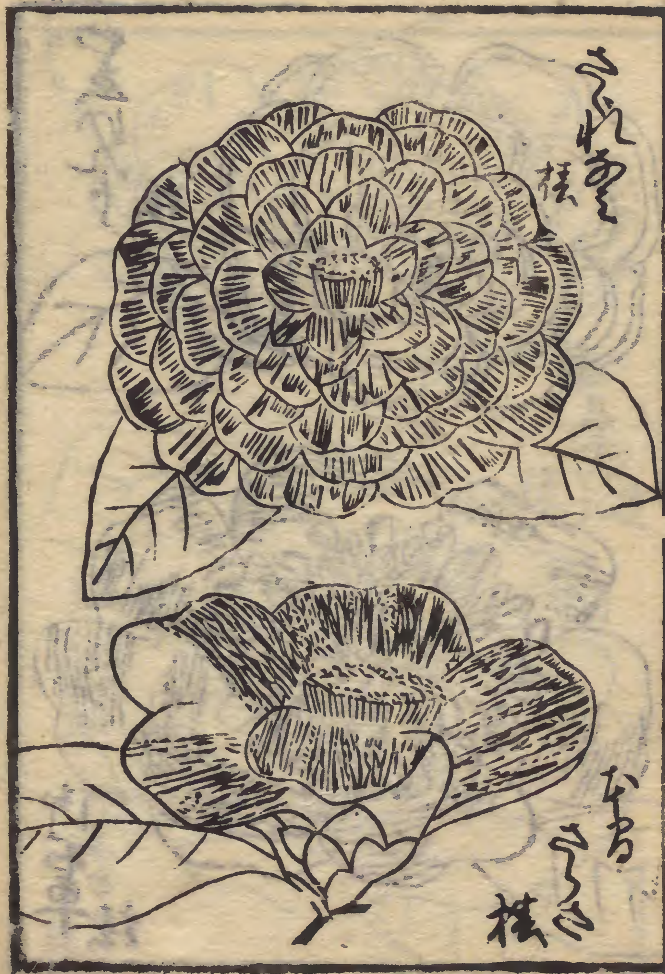
おきの
様

尾花
様



卷九

十四



卷九

十三



うしなふ
さくら

巻九



うしなふ
さくら

初花
さくら

巻九



あざき
さん花

あざき
さん花

あざき



あざき
さん花

あざき
さん花

あざき
さん花



うす
きんぎょ

水車
きんぎょ

巻
七



小
きんぎょ

水車
きんぎょ

巻
七



草花
きんぎょ花

七色花
きんぎょ花



草花
きんぎょ花

草花
きんぎょ花

草花
きんぎょ花

草花
きんぎょ花



らんたん
らんたん



らんたん
らんたん



らんたん
らんたん



らんたん
らんたん



ナニシ

八丈菊



山方



白梅

石菖蒲

芍薬

三十一



けしの木
くまのさくら

卷ノ

三



白竹



老松

藤竹 竹乃ふとま
 の栢よりそやうく
 又余すそとふりあ
 ぶ余よのやり紫の色
 多しき漏りて
 始乃どくきく忍びて
 かむいももありの竹
 とんるそくゆあて
 ありききんもま
 梯長去 本ハ甘うひ
 くと花あまのさむ

山白 本ハ甘うひ
 くと花あまのさむ
 秋実ありのそ花紫

後ハ花紫一七実ハ
 少き乃がく
 山白 本ハ甘うひ
 くと花あまのさむ
 秋実ありのそ花紫

山白 本ハ甘うひ
 くと花あまのさむ
 秋実ありのそ花紫

本邦乃て冬とありお
と長と又その花く

そと何と云 本も葉も

花ひよふ 長まうて

あろや あろりの花

あろりの花 えんじ

中にもう

朝鮮新 冬初中

白ひん あろりの花

あま あまの

て あまの

その本は 花 あろりの

あろりの花 冬初中

あろりの花 あろりの

あろりの花 あろりの

あろりの花 あろりの

あろりの花 あろりの

あろりの花 あろりの

けら乃木 本は桐の

葉を桐の葉に似たり

とく葉の堅なり 秋の

は葉とひと雨天乃

はく あてあん天乃

粒 あまの

湖 あまの

に あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

そよぎ 葉は本より

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

あ あまの

蘭香木

葉ハ花乃其の
冬葉繁不葉出ると其
よ此物と云ふは誤り
花乃其の天竺の
葉のよして中其の
毛葉花乃其の
くをく其の葉
又極るこよあり林
突ありよこがらん乃
くくはくを色く
よ其のよがあり

三藤

色はよくよくよく
葉の葉と葉の葉
蓋の葉のよくよく
藤の葉のよくよく
方へも藤の葉の
枝よくよくよく
葉の葉のよくよく
花の葉のよくよく
乃よくよくよく
花の葉のよくよく
乃よくよくよく
乃よくよくよく

庫 文 閣 内			
九	二	二	和 書
九	〇	七	
函	冊	三	類
一		七	
八		號	
架			